

平成29年度 事業報告書

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	下津井の路地に暮らす 空き家の活用と移住定住支援から生まれる新しい価値
団体名	一般社団法人 クリエイターズラウンジ
担当課	くらしき移住定住推進室

1 事業の成果

平成29年度事業計画書(様式第2号)に記載した「5(2)事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。(※実施した事業の詳細は「4 事業実施記録」に記入してください。)

- イ) 毎月の「路地めぐり」は随時新しい方が参加してくださり、好調だった。
- ロ) 田之浦に住んでいる方が、結婚・妊娠をされて、大変喜んでいる。その他、新たに3人の移住が決まり、5月に引越し予定。法人事務所の候補建物を得ることができた。
- ハ) フェイスブック・インスタグラムなどで、参加者・受益者が、宣伝してくれた。
- ニ) 放置空き家の調査を行なって、町内会にとっての「安心」に繋がった。
- ホ) 移住者のうち一人は、喫茶店を行う予定であり、産業への効果があった。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。

85 点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

- イ) 小さくても良いので、継続的で顔の見える活動を行うこと。その際、町内会との関係を軸に各種の調整を行うことが大事。
- ロ) 活動の継続には、活動の指針・目的となる思想の理解を共有できる人材を求めていくことが重要。
- ハ) 次の段階に進める際には、雑誌ライター・カメラマンなどを起用して、より広い範囲に広報を行いたい。その時のために、基本理念を整理して、飛距離のある「言葉」を準備していきたい。
- 縮小する経済指標の中で、下津井は倉敷の中でも「指折りの街」に該当する。しかしながら、小さくなりながらも幸せを感じながら生活をしている下津井の人たちの生活空間に着目することで、今後、縮小していく他地域にとっての参考事例になれると考えています。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
「路地めぐり」 鷺羽山の東に位置する「大島」地区を歩いた。	4月22日	「大島」地区	2	5
「路地めぐり」 鷺羽山の東に位置する「大島」地区を歩いた。	5月20日	「大島」地区	2	5
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	6月10日	「田之浦」地区	2	5
「映画会」 タイトル；tomorrow パーマネントライフを探して	6月17日	児島市民交流センター	1	23
「映画会」 タイトル；tomorrow パーマネントライフを探して	6月18日	児島市民交流センター	1	25
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	7月22日	「田之浦」地区	2	7
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	8月26日	「田之浦」地区	2	12
「空き家活用説明会」のチラシ発送 12月に行う「空き家活用説明会」のチラシを発送した	11月25日	ヤマグチ建築デザイン	3	3
「路地めぐり」 下津井西小学校の西側に面する「寺井戸・上町」地区を歩いた。	11月25日	「寺井戸・上町」地区	2	5
「空き家活用の説明会」 ①大島地区	12月2日	大島自治会館	2	20
「空き家活用の説明会」 ①田之浦地区	12月3日	下津井憩いの家	2	15
「空き家活用の説明会」 ①吹上地区	12月11日	吹上会館	2	20
「空き家活用の説明会」 ①下津井東地区	12月10日	まだかな会館	2	20

「空き家活用の説明会」 ①下津井西地区	12月16日	下津井公民館	2	20
「路地めぐり」 下津井西小学校の西側に面する「寺井戸・上町」地区を歩いた。	12月16日	「杓井戸・東町」地区	2	6
空き家提供者との協議	1月11日	「寺井戸」地区	1	1
倉敷市移住定住説明会	1月13日	有楽町	4	25
空き家調査事務作業	1月27日	ヤマグチ建築デザイン	5	0
空き家調査事務作業	1月31日	ヤマグチ建築デザイン	5	0
空き家調査事務作業	3月2日	ヤマグチ建築デザイン	5	0
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区にある密集路地の幅を調査した。	3月24日	「田之浦」地区	2	4

収支精算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	90,000	36,000	移住者一人 3000 円一年分
会費からの繰入		525	
その他			
市補助金	500,000	150,000	
合計	590,000	186,525	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの)	50,000	17,836	山口の人件費 27 時間(1)
	交通費(団体会員に支払うもの)			
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	54,000	62,100	バイト人件費合計 69 時間(2-6)
	謝金 (講師等に支払うもの)	60,000	30,000	他地域での実績のある講師(7)
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	40,000	3,500	ガソリン代+高速代(7)
	消耗品費	150,000	3,920	プリンタ用紙、ゴミ袋など(8)
	印刷製本費	30,000	32,855	コピー代、印刷代(9)
	通信運搬費	0	4,740	郵便代(10)
	保険料	0	0	
	使用料・賃借料	130,000	1,810	会場使用料(11)
	外注費・委託費	30,000	21,600	チラシのデザイン費(12)
	小計	544,000	178,361	
経費② (対象外経費)	食糧費	0	0	
	人件費	46,000	8,164	
	その他	0	0	
	小計	46,000	8,164	
合計	590,000	186,525		

(記入上の注意)

※ 予算額は申込み時に提出した様式第3号の内容を記入してください。